

前高特進路だより

第2回就業体験実習が始まります

毎年聞くことなのですが、「夏休みの過ごし方はどうだったでしょうか？」なぜこのようなことを聞くのかといいますと、第2回就業体験実習がこの後に控えているからです。

我々職員が最も恐れているのは、『実習打ち切り』という言葉です。最近はあまりいませんが、特に第2回の実習で『実習打ち切り』になってしまった生徒が経験上多いようです。それは何故かということ、長期休業が影響しているからです。

進路だより第4号の最後にも書きましたが、生活習慣が乱れてしまい体調に悪影響を及ぼしてしまう人が少なからずいます。こうなってしまうと、せっかくの実習が台無しです。本人にとっても実習で労働したから疲れたのか、体調が悪くて疲れたのかわからなくなり、自分に合っているのかさえもわからなくなってしまいます。このような状態で進路選択ができるでしょうか？実習が始まる一週間前で、崩れた生活習慣が戻るかわかりませんが、生活リズムの修正をして実習に挑むようにしてください。

また、実習期間も4週間と長く残暑の中での実習となるため、体力的に心配な場面があるかもしれません。三度の食事をバランス良くしっかりと食べ、疲労をためない工夫もご家庭で考えていただければと思います。

卒業生を囲む会がおこなわれました！

近年は新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができなかった行事、「卒業生を囲む会」が8月4日（木）に開催されました。今年の3月に卒業した生徒5名を招いて、近況報告をしていただきました。皆それぞれの場所でしっかり働く姿を映像で流しながら、仕事内容などを説明していただきました。また、質疑応答では、「社会人になって変わったことはありますか」「何回目の実習で就職が決まったのですか」「仕事の中で気をつけていることは何ですか」「卒業までに身につけておいた方がよい力がありますか」など、在校生からも質問が多く出て活発な会となりました。

その後は、「卒業生の保護者を囲む会」がおこなわれ、働き始めて家での様子や、就労に向けて在学中に身につけておきたいことなど、各家庭よりお話をいただき、今後の参考となる有意義な会となりました。



3年生保護者様へ

本日、8月29日（月）に「群馬県障害福祉サービス事業所利用に係わるガイドライン」及び、「利用申込書、記入例」を該当のご家庭に配付いたしました。記入例を参考にし、利用申込書を2部作成していただき、1部は役場窓口へ、もう1部は学校へ提出してください。なお、役場窓口へ提出する際は、事前に窓口へ連絡していただき、予約を取ってから行くようにしてください。9月1日（木）から受付開始ですが、前号でもお知らせしたとおり、2学期の個別面談後でも遅くはありませんので、じっくりと検討していただければと思います。